

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

経営の基本方針

お客様とのビジネスを軸に、関係者間で調和を作り上げ、知識や技術を活かして短期的課題と中長期的価値創出のバランスの取れた最適を追求する。

売上高
1,100億円

営業利益
22億50百万円

経常利益
29億50百万円

親会社株主帰属当期純
24億50百万円

2 中長期の経営戦略

1. 空調設備工事関連事業

ZEB対応やICT・IoTを活かした付加価値提案強化。DXに積極的に取り組み、働きやすい職場環境実現とノウハウ蓄積を推進。

3. 樹脂・エレクトロニクス関連事業

自動車電動化対応で高難度成形技術確立に取り組み高付加価値化。AIを活用した自動外観検査機の量産適用検証、ベトナム製造拠点での原価低減と電動化部品量産を推進。

2. 情報システム関連事業

「バーチャルCxOサービス」で顧客のデジタル化を包括支援。「POWER EGG®」の機能強化とメジャーバージョンアップ、1,500社超への導入事例活用で売上拡大。

4. 化学品関連事業

長年の調達力を活かし化学品の安定供給。医薬品原薬はGMP遵守と品質管理を最優先。連続フロー法の適用品目拡大で効率性、安全性、環境調和性を強化。

3 対処すべき課題

① 経営環境の不確実性対応

- ・米国通商政策の変化による業界影響への対応が重要
- ・為替変動、労働力不足、物流コスト上昇への対応
- ・複数セグメントの複合力で環境変化をチャンスに転換

② DX・デジタル化推進

- ・建設業でのICT活用による合理化・効率化と新たな付加価値創出
- ・生成AI、クラウド進化への対応とセキュリティリスク増大への対処
- ・IT人材不足への対応と競争環境の厳しさに直面

③ 環境・社会課題への対応

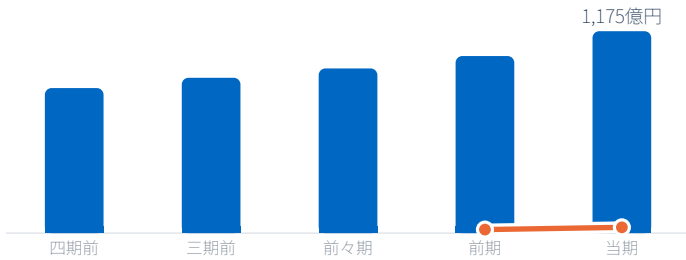
- ・脱炭素化・省エネ対応とZEB実装
- ・人手不足・労働力不足への対応（働き方改革含む）
- ・循環型社会実現に向けた資源リサイクルと環境調和

面接で使えるポイント

- ・売上高6期連続増収、各段階利益3期連続増益で1988年7月上場以来の過去最高更新を目指すなど、成長基調を維持する企業。
- ・商社機能とメーカー機能を併せ持つ6つの事業セグメント複合力で、業界横断的なネットワークの結び目を目指す独自のポジション。
- ・生成AI、ベトナムの700名超技術者、連続フロー法など、新技術投資と国内外拠点の強化で環境変化をビジネスチャンスに転換す…

証券コード 8285

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
1,175億円営業利益率
2.9%財務健康度
28点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 55.2（当サイト算出の参考指標）

平均年収
767万円

卸売業内 80位/282社

平均年齢
41.5歳

卸売業内 173位/283社

平均勤続
11.9年

卸売業内 194位/282社

女性管理職
8.9%

卸売業内 87位/209社

男性育休
100.0%

卸売業内 56位/180社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 三谷産業(株)【8285】：決算情報

